ifbrand 1SEG ワンセグ

Trywin

取扱説明書
車載用ワンセグデジタルチューナー
DT-1000

1SEG ワンセグ

保証書別添付

このたびは、トライウイン車載用ワンセグデジタルチューナーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に『安全上のご注意』(4～7ページ)は、ご使用の前に必ずお読みいただき安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも取り出せるところに『保証書』とともに大切に保管してください。

事故防止のため、運転中は絶対にTVを見たり、操作をしたりしないでください。
この商品は、海外ではご使用になれません。 **For use in Japan only.**

目次

P1　表紙
P2　もくじ
P3　商品構成一覧表
P4～P7　安全上の注意
P8　本機の特長と楽しみ方
P9　ご使用の前に
P10　各部のはたらき(本体)
P11　各部のはたらき(リモコン)
P12～P14　チャンネル設定　1/3
P15～P16　画面設定　1/2
P17 ～P18 設置/接続方法
P19　故障かな！？
P20　お問い合わせ/サポートセンター

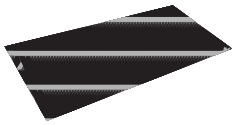
P3 商品構成一覧表(取り付け前にご確認ください。)

本機には、次のものが同梱されてます。設置、接続の前にご確認ください。( )は個数です。
万一、足りない場合や破損していた場合は、すぐに販売店までご連絡ください。

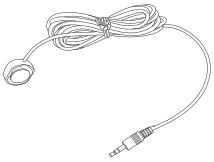
本体(1個)

リモコン(1個)

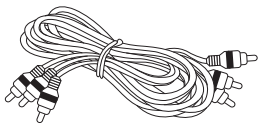
リモコンバッテリー(1個)
(CR2025)



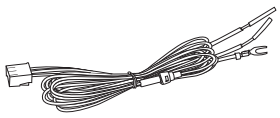
はり付けテープ(1個)
(本体取り付け用)



リモコン受信部(1個)
(固定用両面テープ付き)
(長さ3m)



音声・映像コード(1個)
(長さ 3m)



電源コード(1個)
(長さ 2m)

フィルムアンテナ(1個)
(長さ 4m)

- 付属品の仕様及び外観は、改良のため予告なく
  変更することがあります。
- この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、
  実際とは異なる場合があります。1`  `

使用上のご注意

▨ デジタル放送では受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズ、音声途切れの発生や静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

車で移動して受信するため、家庭用に比べて受信可能エリアが狭くなります。また、車の場所や方向、速度などにより受信状態が変化します。

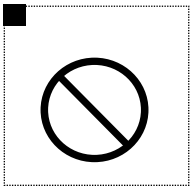
▨ 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

P4 安全上のご注意(必ずお守りください)

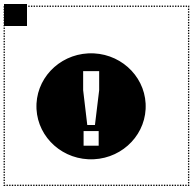
お使いになる本人や周囲の人々への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって、次のように区分し、説明しています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

この表示の欄は、『死亡または重傷などを負うことが想定される危害の程度』です。
または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度』です。

警告

配線・取り付け/取りはずしは、専門技術者にご依頼ください。
取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめてください。
車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザードウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

禁止

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しないでください。
ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

禁止

本体はマットの下・又はじゅうたんの下には絶対に取りつけないでください。

火災の原因になります。

P5 安全上のご注意(必ずお守りください)

警告

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けないでください。
運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ブレーキペダル付近など)、前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故や怪我の原因になります。

運転者は走行中に操作をしたり、画像を見たりしないでください。
走行中に操作をすると、事故の原因となります。
操作は安全な場所に停車して行ってください。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回してください。
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故や、けがの原因になります。

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付けてください。
車体やダッシュボードに穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。
火災や感電、事故の原因になります。

DC12ボルトマイナスアース車で使用してください。
DC12Vマイナスアース車専用です。
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車(DC24V車)には使用できません。
火災や故障の原因となります。

故障や異常のまま使用しないでください。
煙が出る、異臭がするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因となります。
直ちに使用を中止してサポートセンターにご相談ください。

分解や改造はしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
分解禁止
内部の点検・調整・修理はサポートセンターにご依頼ください。

はずれたり・落下しないように、しっかり取り付けてください。
ねじが緩んでいたり、接着が弱いと、走行中にはずれる・落下するなど、事故や怪我の原因になることがあります。

P6 安全上のご注意(必ずお守りください)

警告

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

ぬらしたりしないでください。
火災や感電の原因となります。

異物を入れないでください。
機器内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。

安全のため、必ずパーキングブレーキ入力を正しく配線してください。
説明に従って正しく配線しないと、安全機能が働かなくなり、交通事故の原因になります。

使用しないコードの先端などは、絶縁してください。
被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートになり火災や感電の原因になります。

正しく配線を行ってください。
誤った配線をすると発火や事故の原因となります。
特にリード線がねじやシートレールの可動部分にかみ込まないよう整形し、固定してください。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
バッテリーのマイナス端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

雷が鳴り出したらアンテナ線やテレビには触れないでください。

感電の原因となります。

警告

本機の通風孔をふさがないでください。
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

走行中は適正な音量で使用してください。
車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は事故の原因となることがあります。

P7 安全上のご注意(必ずお守りください)

警告

車載用以外には使用しないでください
車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、発煙・発火・感電やけが、故障の原因になる場合があります。

コードをかみ込ませたり、引っ張ったり、傷つけないでください
ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けないでください
傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

水がかかる所やほこりの多い所に取り付けないでください
火災や感電の原因となることがあります。

決められたヒューズを使用してください
必ず規定のヒューズをご使用ください。
規定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用してください
指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

リモコンは直射日光・高温の場所を避けて保管してください
ケースの変形、内部電池の破裂、液もれの原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けないでください
直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や事故の原因になることがあります。

電池を入れるときには、極性表示(プラスとマイナスの向き) に注意してください
機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

リモコンを放置しないでください
運転中に足もとに転がってブレーキペダルなどの下へ入りこむと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

P8 本機の特長と楽しみかた

本機の特長

- ワンセグ専用
- 小型・軽量
- 高感度フィルムアンテナ （ブースター付）
- 全機能赤外線リモコン方式 （カード式）
- 画面切替機能搭載 （ノーマル画面・フル画面）

ワンセグとは？

1チャンネル （13セグメント）

地上デジタルテレビ放送		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
地デジ放送	（HDTV 放送時）	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■
	（SDTV 放送時）	■	■	■	■									
ワンセグ								■						

ワンセグとは、携帯電話など移動体端末向け地上デジタル放送サービスの名称です。地上デジタル放送では、1チャンネルの周波数帯域を13セグメント（区分）に分割し、そのうち12セグメントを使って据え置き型テレビ向けにハイビジョン放送や多チャンネル放送を行っています。

地上デジタル放送は、現行の地上アナログ放送がデジタル化された放送で、2003年12月から東京・名古屋・大阪を中心とする関東・東海・関西の一部で開始された放送です。（其の他の地域では2006年末までに放送が開始される予定）。データ放送を利用することもできます。また、地上デジタルの電波の一部を使用して携帯電話などの小型機器でも家庭と同じようにテレビやデータ放送を見ることができる地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」があります。地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」とは地上デジタル放送の電波の約6MHzの帯域を13個のセグメントに分割し、その1つのセグメントを利用して放送されることから、ワンセグと呼ばれるようになりました。
本機を別売のモニターに接続して地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を見ることができます。
なお、地上デジタル放送や地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、地上アナログ放送のUHF帯の電波を使用して放送されています。
本機はデータ放送および緊急警報放送の受信には、対応しておりません。

☺ 地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、2006年4月1日に東名阪および其の他一部地域より順次開始される放送サービスです。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人地上デジタル放送推進協会　http://www.d-pa.org/

お願い

車のエンジンを切り、ACC電源を「オフ」にすると、本機の電源は切れます。
また、車の場所、方向などにより受信状態が悪くなることがあります。

P9 ご使用の前に

お買い上げ後、初めてお使いになる時にご準備ください。

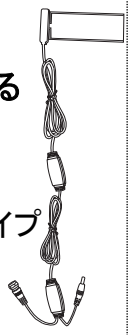
1

本機を車に取り付ける
（ ☞17 ページ）

2

アンテナを接続する
（ ☞17ページ）

車室内フィルムタイプ



3

電源コード(付属)と
リモコン受信部(付属)
（ ☞17ページ）を接続する

4

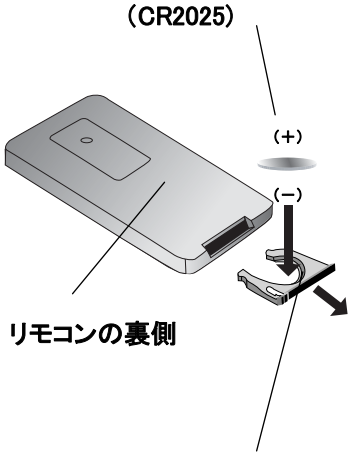
本機を車に取り付ける
（ ☞17ページ）

5

アンテナを接続する
（ ☞17ページ）
車室内フィルムタイプ

6

リモコンの電池を入れる
ふたを開け電池の極性を確任して、ふたを閉める



7

車のエンジンを始動ください

8

本機を作動（ON）にして初期画面を確認する

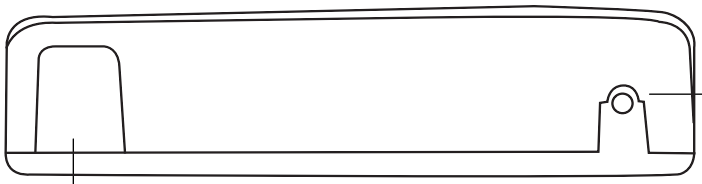
9

「設定/設置」をする
（ ☞12～17ページ）

これで、基本の接続と設定は終了です
11ページからの説明をご覧になり、放送をお楽しみください。

P10 各部のはたらき

本体の前面

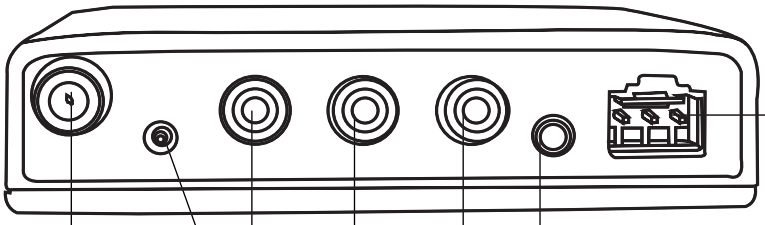


電源表示ランプ

赤色：車のACC「ON」の状態

リモコン受信部

本体の背面



電源コードを接続する
（☞17ページ）

リモコン受信部を接続する
（☞17ページ）

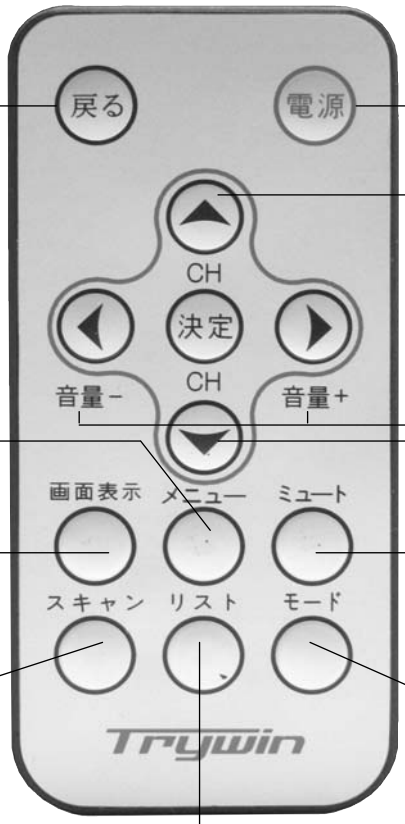
映像・音声出力端子のある映像機器に接続する（☞17ページ）

フィルムアンテナ電源を接続する（☞18ページ）

フィルムアンテナを接続する
（☞18ページ）

P11 各部のはたらき

リモコン



メニュー上で前段階に戻る（☞16ページ）

電源を「ON」・「OFF」する（☞16ページ）

チャンネルを順番に選ぶ（☞16ページ）

メニュー各種設定（☞14ページ）

音量を調整する（☞16ページ）

画面表示（☞15ページ）

ミュート
音を消す（☞16ページ）
（もう一度押すと解除する）

スキャン（☞13、14ページ）

モード（☞15ページ）

リスト（☞15ページ）

リモコンは直射日光・高温の場所を避けて保管してください。
ケースの変形、内部電池の破裂液もれの原因になることがあります。

お願い

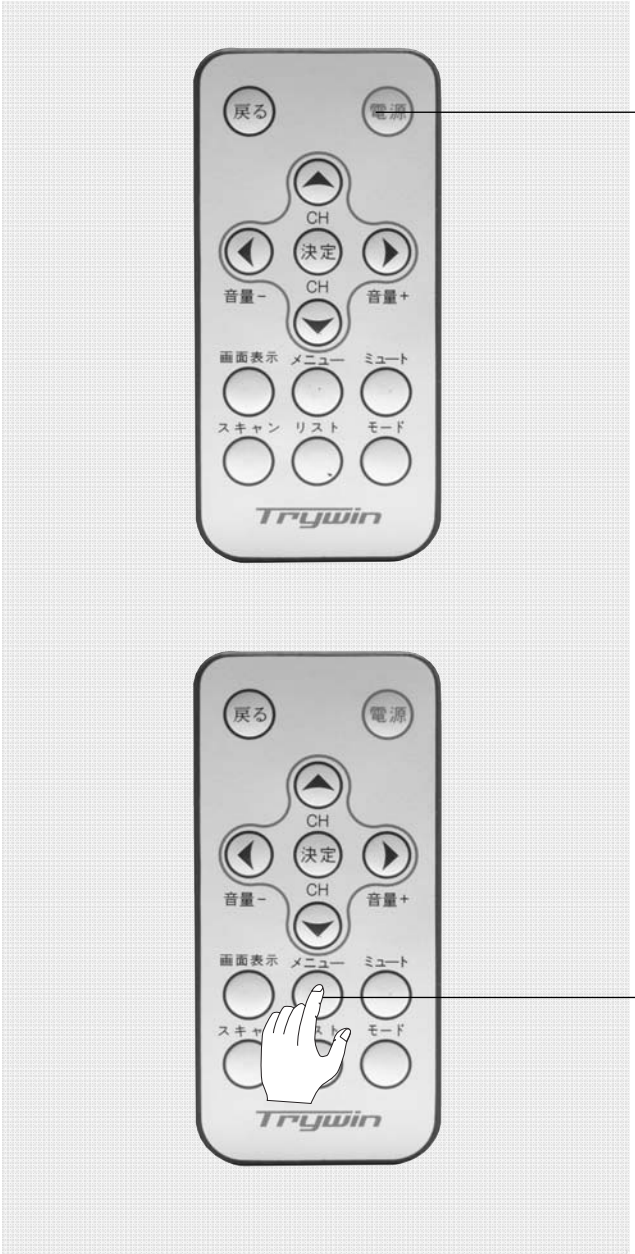
リモコンの受信部（本体または付属）に直射日光や強い照明があたると、リモコンの感度に影響します。リモコンの受信部（本体または付属）にリモコンを近づけて操作してください。
リモコンの受信部（本体または付属）とリモコンの間に物を置かないでください。
リモコンの受信部（本体または付属）は指向性が強いため、傾けると動作しにくくなります。
リモコンの受信部（本体または付属）に対して平行に向けてください。

P12 設定/設置

設定

◆ チャンネル設定1

ご購入後、まず最初地域設定を行ってください。



①本機が接続されているAV機器をONして、
本機のリモコンの 電源 ボタンを押す。

①本機のリモコンの メニュー ボタンを押す。

■ 注意

画面で表示されている放送局名は2006年9月末現在の受信可能な放送局です。
その後、開局する放送局はチャンネル表示のみとなります。

P13

設定

♦ チャンネル設定2

お願い

地域によって割り当てられるチャンネルが異なるため、現在地の地域設定を行ってください。
地上デジタル放送は、東京・名古屋・大阪を中心とする関東・東海・関西の3大広域圏や一部の地域でも放送が開始されており、残りの地域についても2006年末までに放送が開始される予定です。地域設定する前に、お車の走行地域で地上デジタル放送が開始されているかお確かめください。(地上デジタル放送の電波が受信できない状態で地域設定はできますが、放送を受信することはできません。)

◎ 地域設定

①メニュー画面の 地域設定 をチャンネルUP/DOWNボタンを使って選択して、決定ボタンを押す。

②現在地の地方，県域をチャンネルUP/DOWNボタンを使って選択して、決定ボタン を押す。

P14

設定

◆ チャンネル設定3

◎ 地域設定

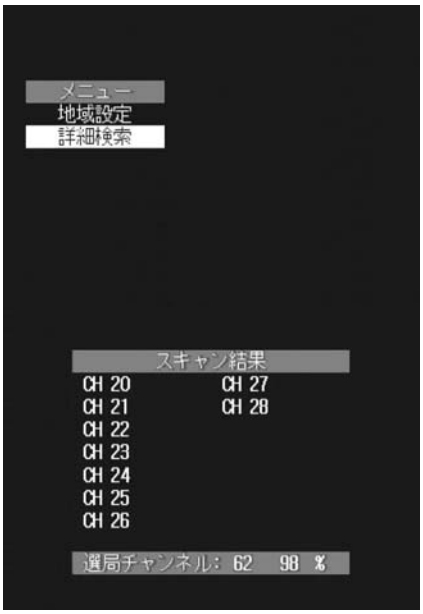
①地域の設定が終わって、地域スキャンが行われる。

②スキャンの結果が画面に表示されて、一番上の放送局の番組が映る。（下の数字は受信できる放送局の数です。9/9)

③この地域スキャンの場合は現在、地域設定表示しているチャンネルをスキャンしてチャンネルリストに表示することができます。

④この後にリモコンのスキャンボタンを押すと、設定した地域のチャンネルをスキャンする。

◎ 詳細検索



①メニュー画面の 詳細検索 を選択し、リモコンの 決定 ボタンを押す。

②物理チャンネル13chから62chまでスキャンして、受信できる物理チャンネルを表示します。

③この後にリモコンのスキャンボタンを押すと、物理チャンネル13ch～62chまでのチャンネルをスキャンする。

■ お願い

リモコンのメニューボタンを押して、メニュー画面を表示し、地域設定を行うことができます。
メニュー画面の 詳細検索 を選択し、リモコンの 決定 タンを押すと現在、地域設定で表示しているチャンネルとチャンネルリスト以外で受信できるチャンネルをスキャンしてチャンネルリストに表示することができます。ただし、この場合は、表示されるのは物理チャンネルです。

P15

設定

♦ 画面設定1

◎ 画面表示

現在受信しているチャンネル情報を表示する。放送局名、時刻と音声の情報・ステレオまたはモノラルなどを表示する。

◎ リスト

最近スキャンしてメモリーしたチャンネルをチャンネルリストに表示する。
地域スキャンは放送局名、詳細検索は物理チャンネルが表示する。
チャンネル選択はリモコンのチャンネルUP/DOWNボタンで選択して 決定 ボタンを押すと選択された放送局が映ります。

◎ モード

現在受信しているチャンネルの画面のサイズがフル/ノーマルサイズに変わる。
（ノーマル→フル→ノーマル）

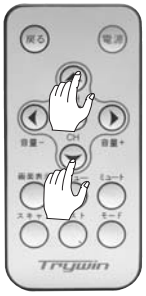
フル画面

ノーマル画面

P16

設定

♦ 画面設定2



◎ チャンネル移動

リモコンのチャンネルUP/DOWNボタンで
メモリーされた放送局を選局する。

◎ 音量調整

リモコンの 音量(＋)(－) ボタンを押すと音量が
UP/DOWNする。

◎ ミュート

一時的に音が消去する。再び押すとミュートが解除する。

◎ 戻る

メニュー画面で設定する時、以前の段階に戻る。

◎ メニュー

メニュー画面を表示する。

◎ 電源

本体の電源をON/OFFする。

◎ 決定

メニュー画面で選択した項目を決定する。

設置

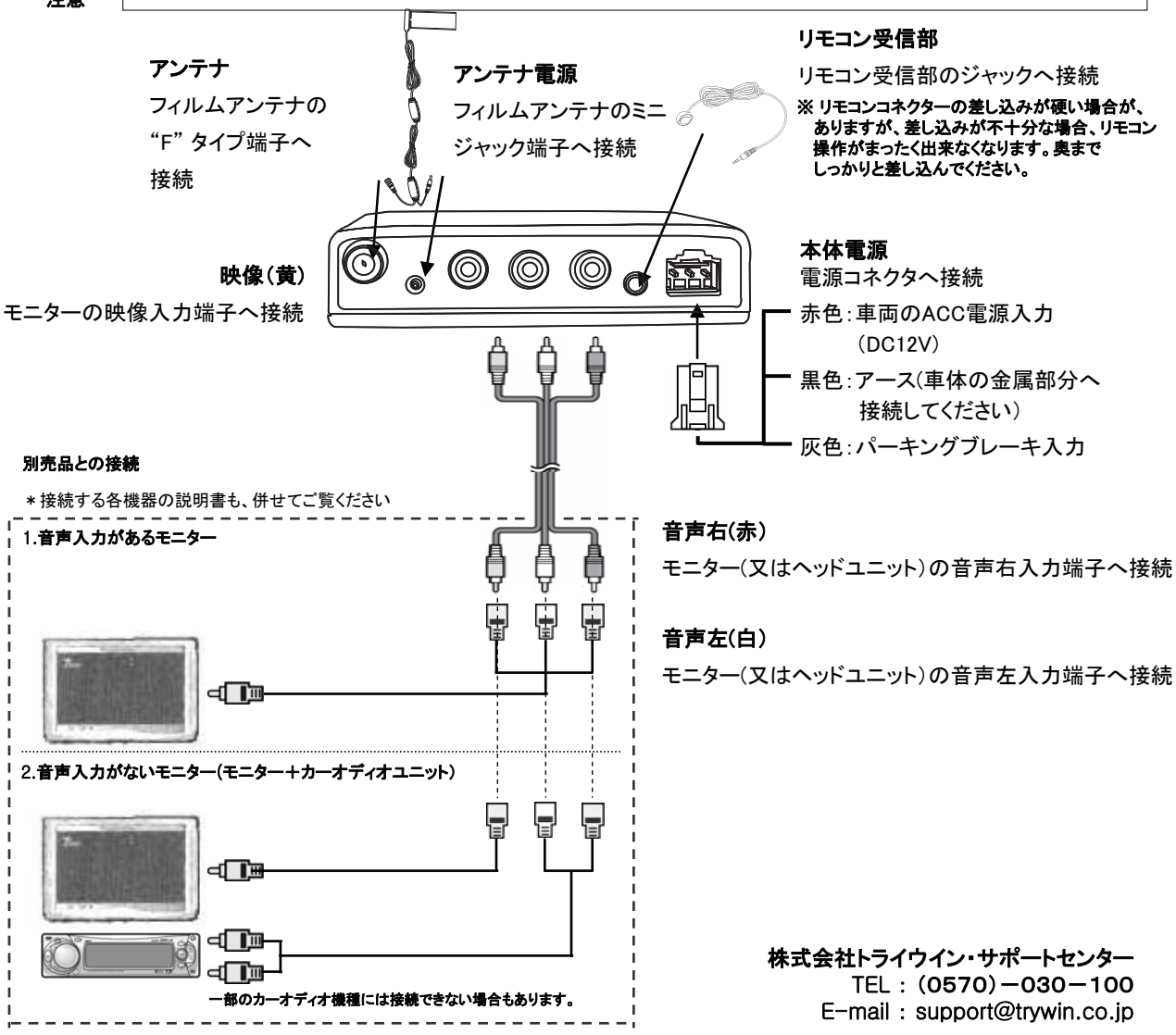
◆ 設置

■お願い

●本体を車に設置する時は、運転の妨げにならない場所に設置してください。(例示:助手席の下)
●本体はマットの下・又はじゅうたんの下には絶対に取りつけないでください。火災の原因になります。
●設置した後は、設置に使った各種コード類をかみ込ませたり、引っ張ったり、傷つけないように段取りしてください。
●電源はバッテリーに直接接続しないでください。バッテリー上がりの原因になります。
●通常、パーキングブレーキ入力リード(灰)は、パーキングセンサーに接続してください。
●付属の貼り付けテープを利用してはずれたり、落下しないようにしっかり固定してください。
●以下のところには 取り付けないでください。故障の原因になります。
水がかかるところ、足で踏まれるところ、ほこりの多いところ、直射日光のあたるところ、ヒーターのダクトや発熱する物の近く、カーペットの下など熱のこもるところ。

注意

ノイズ防止のため、次のものは本機からできるだけ離して設置してください。
GPSアンテナ／アンテナコード、FM多重アンテナ／アンテナコード、ビーコン受信機／アンテナコード
携帯電話ハンズフリーキット



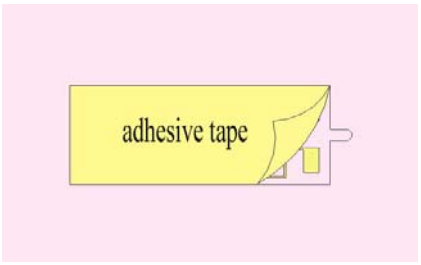
株式会社トライウイン・サポートセンター
TEL : (0570)－030－100
E-mail : support@trywin.co.jp

設置

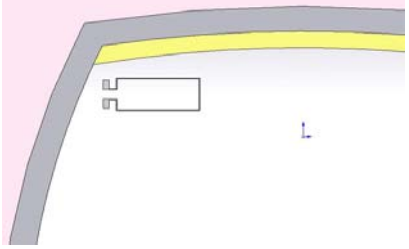
◆ 設置

■お願い

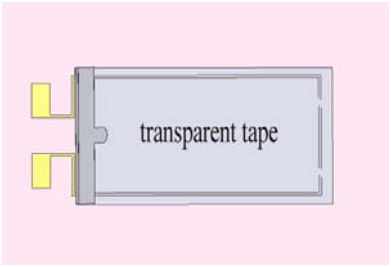
●フィルムアンテナのエレメントは、運転の妨げにならない場所にはってください。
●F型接栓は、必ず最後まで接続したことを確認してください。なお、接続するときは、手で緩まない程度に締めつけてください。締めつけ過ぎると本体内部が破損する場合があります。
●コードは、高温、高熱部や金属部との接触を避け、市販のテープなどで固定してください。
●地上デジタル入力端子は、定期的に点検・締め付けをおこなってください。



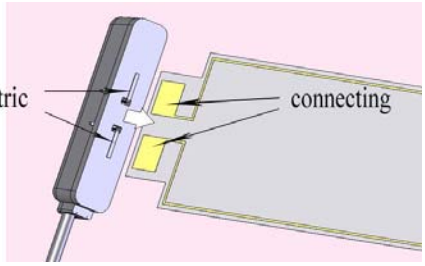
1.ガラス面の油膜・汚れ等をきれいに落としてください。 2.アンテナエレメントの裏側の接着剤保護用 シートをはずしてください。



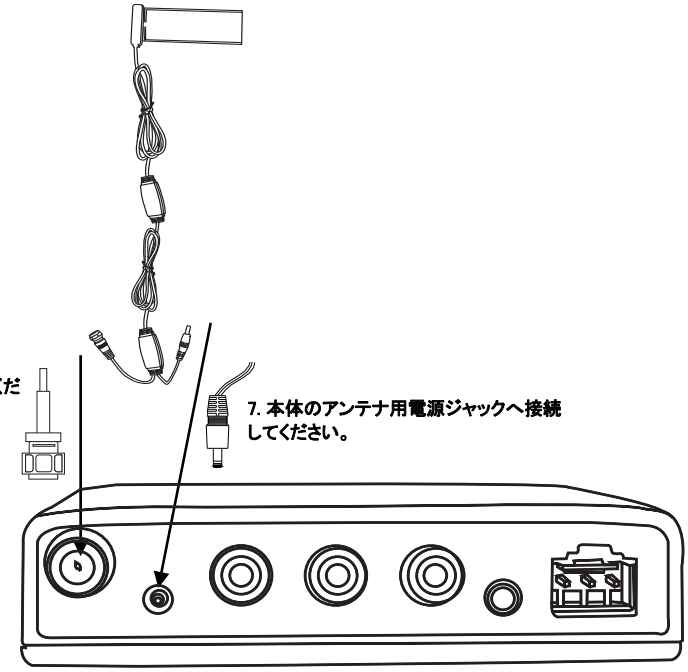
3.アンテナエレメントを適当な位置へはって ください。



4.運搬用保護シートをはずしてください。



5.エレメントの連結端子の接着剤保護用 シートをはずして、エレメントとの連結用端子を約20～30秒程度押してください。



6.本体の“F” タイプ端子へ接続してください。

7. 本体のアンテナ用電源ジャックへ接続してください。

注意

車室内用フィルムアンテナは、熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど、電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が低下します。

P19 故障かな！？

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは
使用を中止して　株式会社トライウイン・サポートセンター『TEL：（0570）－030－100
E-mail：support@trywin.co.jp』にご連絡ください。

症状	原因	処置	参考ページ
電源が入らない(映像も音も出ない)	電源コードの接続が不完全。	接続を確認してください。	17
リモコンで　操作が　できない。	リモコンの受光部をリモコン受信部に向けていない。	リモコンの受光部をリモコン受信部に向けて操作してください。	－
	リモコンと受信部との距離が遠すぎる。	リモコンは受信部から直線距離で約3m以内の範囲で操作してください。	－
	リモコンと受信部との間に、障害物がある。	障害物を取り除いてください。	－
	リモコンの電池が消耗している。	電池を交換してください。	－
	①リモコンの電池の入れ方が間違っている。 ②リモコン受光部本体への接続がしっかりされていない。	①電池の⊕⊖を確認して、正しく入れ直してください。 ②本体のジャックを確認してください。	－
音声は出るがワンセグ　映像が出ない。(停車中)	パーキングブレーキを引いていない。	パーキングブレーキを引いてください。	17
放送が受信できない。	①放送エリア内にいない。 ②RCA端子の接続不良。	①アナログ放送との混信を避けるために、当初は受信エリアが限られていますが、順次拡大される予定です。 ②RCA端子の接続を確認してください。	－

✚ お買い物に関する相談窓口（商品の操作方法等に関する相談）

受付時間：月曜日～金曜日（祝日および当社の休日を除く）
10：00～18：00
株式会社トライウイン・サポートセンター
TEL：（0570）－030－100
E-mail：support@trywin.co.jp

✚ 修理に関する相談窓口：

受付時間：月曜日～金曜日（祝日および当社の休日を除く）
10：00～18：00
株式会社トライウイン・サポートセンター
TEL：（0570）－030－100
E-mail：support@trywin.co.jp

お客様メモ	
ご購入の際に記入しておいてください。修理などを依頼されるとき便利です。	
品番	DT-1000
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ販売店	
	電話（　　）　　－